

読書バリアフリー研究会 アンケート回答（2016_10_01 長野会場）

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 **48**、アンケート回収 **43**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	14	
友人・知人の紹介	10	
ウェブサイト・ブログ	4	当財団 HP 4
メールリスト	2	
その他	13	図書館 7、職場 3、音訳ボランティア 1、学校 1
合計	43	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
35	8	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・「合理的配慮」という言葉を初めて知りました。障害にかかわることはもちろん「人と接する上での考え方」(例えばボランティア活動など)全てにつながるものだと、改めて気づきました。お話も分かりやすく、本日お聞きした話を伝えていこうと思います。 ・様々な視点からの支援をお聞きすることができて良かったです。 ・特別支援学校では、ICTをととても有効に使われていて、そういうこともできるんだ！と感動しました。 ・特別支援教育が必要な子どもに対して、読書環境を整備する手段を分かりやすく説明していただき、実際に触れることもでき、勉強になりました。 ・小さな図書館の司書をしています。予算の面などで今すぐには限られていますが、障害者の方の心に寄り添い、どうすればより良い読書環境を作れるか、明日から現場で考えていこうと思いました。4時間半あっという間でした！ありがとうございました。 ・図書館に勤めており、障害者差別解消法の特集コーナーを作りました。コーナーを作りながら、LDの人たちについてや読書支援ツールの事を紹介し自分も勉強したつもりでしたが、まだまだいろいろな支援の形や、障害のケースがあるのを知ることができました。 ・マルチメディア DAISY、興味深いです。 ・午前中の合理的配慮の講義では、「困り感には人によって違う、私たち抜きで私たちのことを決めないで」といった言葉が印象に残った。忘れないようにしていきたいと思った。 ・午後の学習障害の講義をお聞きして、これまでもやもやしていたことがはっきりしたように思った。具体的に支援方法をいくつか紹介していただいたので、とても参考になった。カラーフィルター、読み上げについてはすぐに生かしていきたいと思った。 ・合理的配慮とはどのようなことか、具体的に理解できた。基礎的環境整備の必要性を感じた。学習障害とはどういうことか、どのような支援をすればよいかわかり、今後役に立てたい。

- ・学習障害、ICT教育など学校現場の課題解決の方法を分かりやすくお話しいただき、とても参考になりました。長野県でまたやってほしい。
- ・勉強になりました。どうしようかなあと迷いましたが、来てよかったです。ありがとうございました。
- ・講師の説明が丁寧でわかりやすい。各種支援機器は知らなかったものが多く参考になった。
- ・支援の仕方は、様々な方法があることがよく分かりました。これからの指導に個々に応じて使っていこうと思います。来てよかったです。ありがとうございました。
- ・河野先生の話が聞きたかったので、LDについて詳しい説明と実例を知ることができて良かったです。最後の質問のところで、「本人がICTを使いたがらない場合」についての先生の回答がよかったです。私の息子もそういうところがあり、悩んでいたのが参考になりました。
- ・音訳ボランティアをさせていただいております。障害者を取りまく現状を知ることができ、とてもよかったですと感じております。一人一人に合った支援に対応できるよう、努力していきたいと思っております。伊藤忠の社会貢献、素晴らしいと思っております。
- ・発達障害について、学習に対する支援は様々あるし、実践しているが、それを読書活動に生かそうという発想が今までなかった。「本が嫌い」という子どもたちの中には、支援の必要な子がいると思う。司書の先生と協力して何か始めたい！と思った。
- ・講師の先生方のお話が大変分かりやすく、よく理解できた。今回教えていただいたことを知っているのと知らないのでは仕事上だけでなく、日常の過ごし方や人との接し方でも自分自身大切なことだと思う。実際に携わっている方々の具体的で、説得力のあるお話を聞くことができた。
- ・恩師に勧められて今回参加させてもらいました。この研究会の内容は、初めて知ることが多く大変勉強になりました。「学習障害」についての河野先生のお話は、とても興味深く聞かせていただきました。障害のある子どもたちへの読書の支援が広がっていくことを期待します。素晴らしい活動だと思っております。
- ・知らないことがいかに多かったか、教えられました。
- ・全体像から個別の支援方法まで詳しく理解できる発表内容だと感じられた。
- ・識字障害について、よくわからなかったのですが、大変よくわかりました。元教員ですが、このような子どもがいるということを全く知らず、悪いことをしたのかもしれないと感じました。学校は忙しくて大変ですが、もっと現場の先生方が知る必要があると思っております。ありがとうございました。
- ・私は仕事でユニバーサルデザインについて講義することがあるのですが、これまで知らなかったことも多くあり、今後の活動につながります。
- ・何回か参加させていただいていますが、毎回新しい気づき、発見があって理解が深まります。
- ・通級指導教室で使える内容がたくさんあった。
- ・公共図書館に勤務しているので、これまでも障害者サービスについての研修に何度も参加してきましたが、今回は障害の特徴と支援について、より詳しく知ることができました。障害者差別解消法が施行されて、図書館サービスにおいても合理的配慮が必要となっている今、よりよいサービスを検討する上で大変有意義な機会となりました。図書館において実際に提供するほか、広く情報を発信していく必要性を感じています。読むことが困難な方々に楽しさを伝えていきたいと思っております。
- ・障害を持つ子どもに対しての、具体的な配慮について学ぶことができた。またそれ(配慮)を実現するための手段としてICTに関しても知ることができ良かった。眼鏡と同じように「キ

- 「ボード」や「読み上げ」があるべきという言葉が印象に残った。
- ・学習障害についてあまり理解できていなかったので大変ためになりました。一人一人に合った支援の大切さを再認識できました。
 - ・障害の名前は一つでも(〇〇障害など)、一人一人障害の違いがあり、その一つ一つに寄り添うようにして、いろいろな種類の支援が必要なのだと思いました。与えられるだけでなく、自発的にかかわっていくようなツールもあり、それを作るまでに支援する人と利用していく人の努力や創意工夫が伝わってきました。その人に必要な支援を必要なだけ、というのはコミュニケーションが取れていないとできないことだと思います。
 - ・障害とひと言で言っても人によって出来ること、出来ないことは様々で、それに対して支援をするといっても一括でできるものではなく、一人一人に合わせて支援をしていかなければならないということを学びました。iPad などを使った支援の方法が広まっていることを初めて知りました。
 - ・本日の講座内容は初めて聞くことばかりです。先生方も初心者にも分かりやすく、画像や動画や簡単な言葉で説明していただき、とても分かりやすい内容でした。本日の内容を導入として、知識を深めていかなければならないと思いました。
 - ・情報機器の具体的活用法が役に立ちました。障害のある方に接する機会はほとんどないのですが、我が家の高齢者に使える情報でもありました。
 - ・学習障害の具体例を見せていただきわかりやすかったです。具体的支援方法や何が差別になるのかがわかりました。できないことに遠慮してはいけないのだと思いました。
 - ・伊藤忠記念財団電子図書普及事業部の部長さんと課長さんの、この事業にかける思いが伝わってきた。
 - ・講師の皆様の講話が専門性が高く、読みにかかわるいろいろな知見が参考になりました。
 - ・図書館は、初めて利用させていただきました。イスにテニスボールがはめてあり、そもそも、図書館自体がUD化されていることがわかりました。
 - ・高校の図書館では環境(スペース・配当等)が厳しく、合理的配慮がなかなか難しい。そのような中でも、司書や教員ができることがいくつかあることが今日の研修の中で発見できた。どんなフォントが見やすいのか、少額からでもできる学習支援が可能な機器グッズの用意などである。たぶん教員はそれらについて知らない。知る機会がない他に、多忙で一部の学習が困難な生徒の支援は後回しにされやすい。図書館から情報を提供し、出来ることからひとつずつ進めていきたい。(図書館だよりは丸ゴシックにしています。先生たちのプリントは明朝が主。LDの子には辛いだろう。)
 - ・読み(書き)への全般的な全体像がきちんとつかめた。
 - ・読みにくさの原因の様々な要素がいろいろ分かった。
 - ・機器の種類と導入に向けての方向が見えた(私の市ではタブレットが公費で導入されていない)。
 - ・「合理的配慮の不提供が差別」という意識をもって本人が支援を選び活用できる場を広げなくてはならないと学校での差別解消に向けてがんばりたい。
 - ・病気や障害のある子どもへの教育の場面での様々な機器を教えていただき、カルチャーショックを受けました。
 - ・学習障害についてとても分かりやすく教えていただきました。ありがとうございました。
 - ・合理的配慮、ICT、学習障害、どの講座も勉強になりました。この内容で無料(今回の講座が)だったのも凄いですね。またこの研究会があったら行きたいです。「第2回読書バリアフリー研究会」楽しみです。
 - ・今まで障害者ライブラリーにかかわっていながら、あまり障害者の方の情報を理解していな

かったので、勉強になりました。とてもお話も分かりやすく聞きやすかったです。

- ・耳にしていただけだった本活動を、事例を見せていただき、少しですがわかりました。気づいていなかった(あるいは問題とは思っていなかった…例えば“色”)ことばかりだったと、自分の甘さに驚いています。

やや満足の理由

- ・新しい情報をたくさん教えていただいた。
- ・河野先生の話、とてもわかりやすくよかったです。
- ・図書館でどんなバリアフリーができるか知りたかった。
- ・支援の具体例をもう少し詳しく知りたかった。
- ・教育の現場の方々にぜひ聞いていただきたい内容でした。先生方には絶対に知っていただきたい内容でした。障害のこと、実際の取り組み方、正しく判断すること…きちんと理解できる人が増えるのが、一番大切だと思います。少しでも早く困っている子どもたちに気づいてあげられるように周知して欲しい内容でした。
- ・学校司書をしています。この子は読み書きが…という子がいますが、学校はそこまで気がついていないように思います。支援の本職ではないので言いにくい部分もあり、ADHD 教室からいなくなるような子らの支援でいっぱい現状があります。おとなしく座っていられる子は支援の対象になっていません。早く見つけて、気づけるように勉強していきたいと思います。
- ・学習障害について、大変よくわかりました。どんなに努力してもできない子にできることと同じ手段だけで努力させても、その子は辛いだけで、本来つけるべき学力をつけることは難しいので、その子に合った手段を考えてあげなければいけないと思いました。ICT 活用が肢体不自由中心でしたのが、今度は読み書き障害に対しての ICT 活用についてのお話も聞いてみたいと思いました。
- ・午後からの参加で申し訳ありません。とってもありがたい試みで、図書館にも置かせていただきたいお話でした。もう少し具体的に購入の方法、お借りする方法はどうしたらよいかをお聞きしたかったです(もし午前中にお話しされていたら申し訳ありません)

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・身内に ADHD がいるので、障害者社会の環境や対応策について、割と普段から気にしてはいますが、認知度や理解が限られた範囲であるというのを改めて思い、勉強になりました。伝える努力をする方、普及のために尽力する方がいないと広まるのが難しい情報だと思います(もちろん知ろうという努力も)。このような機会を設けていただきありがとうございました。ADHD の身内が、小中学生の時にこうできたのでは…と講演を聞いた後では後悔しきりです。とても興味深い話をたくさん聞くことができました。
- ・「わいわい文庫」を知らなかったです。早速自館に帰ったら上司に勧めようと思います。ありがとうございました。
- ・有意義な時間になりました。ありがとうございました。自校の図書室に大きな文字の本やマルチメディア DAISY 図書があるといいなあとと思いました。
- ・3 人の講師の先生が、違った現場で体験していることをもとに、講義してくださりとて勉強になりました。
- ・財団の事業の目的がよくわかりました。すばらしい事業を行われていると感心しました。
- ・読みづらさ、書きづらさ、「障害は本人にあるのではない」。目からウロコの話でした。
- ・とても分かりやすく知りたい内容なので、もう少し長く詳しくお話をお聞きしたかったです。あ

と10分か15分くらいずつ延長していただいてもいいかなと思いました。伊藤忠記念財団…学校生活をずっと続けていると知らない世界でした。素晴らしい活動をしていらっしゃるんだなあと感じました。まずうちの学校はパソコンやタブレットの購入からです。

- ・矢部さんのお話がユーモアがあって面白かったです。
- ・「お互いに情報交換を」とお話がありましたが、そのためには名札に所属が書いてあったほうがよかったと思う(話しかけやすい、というか自分が得たい情報を持っていそうな人を見つけやすいというか…)。
- ・県外の学校のお話を聞くたびに長野市の遅れをひしひしと感じる。どうにかならないものか…(iPad、AppleTVを自腹で買い、あれもこれもとしたいと赴任したが、セキュリティーがどうの、いちいち設定が必要で面倒になり、AppleTVはお蔵入り…)
- ・県教委からどなたか来ましたか？来てくださればいいのに…。
- ・河野先生に研修の講師に来ていただきたいと思いました。通常の学級(特に中学)の先生にうけていただきたい。
- ・伊藤忠商事がこのような事業をしているとは知りませんでした。金銭面の利益では計ることのできない事業を積極的に進めていただけて嬉しいです。またこのような研究会が無料で受けられることにも驚きです。広く参加していただきたいです。
- ・体験する時間を会の中に組み込んだらどうか。図書館などわいわい文庫利用事例を内容に加えてほしい。
- ・図書館としてマルチメディア DAISY を必要としている子にいただいた資料を気持ちよく提供できるようにするにはどうしようか考えていきたい。
- ・今回の主テーマは「読書」ですが、障害者だけでなく、シニアにも同じ問題があります(シニア特有の問題としてねらったところにタッチができない、ギュッと押すなど)。このような視点からのサポートについても何か参考になることがあればセミナーをお願いしたいです。
- ・読み書きの障害について、健常者に理解を深めていただくことも、図書館の役割の一つと考えます。学校や福祉部門と協力して進めていきたいと思います。
- ・マルチメディア DAISY について、特別支援の担任と話をしたい(できれば導入・活用に向けて)。
- ・各地から集まってこられたいろいろな立場の方が集まっているので、情報交換みたいな時間もあるとよいと思いました。
- ・発達障害(自閉症スペクトラム)の家族がいます。大人になってから発覚したので、今まで自分の性格だと思っていたのが障害だとわかり、いろいろ納得したそうです。白黒はっきりつけたがる、予定外の行動が苦手、音からの処理がうまくいかない、多動があるなど日常生活で支障が出ることもあります。身近に障害者がいないと、何をするのが大変なのか、どうすることがいいのか考える機会がありませんでした。もっと障害にかかわる場あればと思いました(学校など)。特に読書は「趣味」ととらえられていることがあるので、読みたい欲求を満たすことの大切さ、学びたいという意味とそれに応える人たちの努力を「かわいそう」で決めつけないでほしいです。
- ・図書館など一団体でできることはごくごくわずかなことだと思います。わいわい文庫など、素晴らしいものがハードの問題や資金の問題などで導入が難しいというのは悲しいことです。ぜひ、市や県を巻き込んで活動が広がっていけばよいと思います。
- ・手話のお話し会や、利用案内の手話や音声ガイドなどできることはたくさんあるから、あとは私たちがどう動くかです。
- ・標準といわれる範囲の中に入らないと、外されてきたのが今までの日本社会でした。まだまだ枠はあります。少しでもそんな意識がなくなっていくとよいなと思います。また、便利な機器が経済的にも負担が少なく利用できるようになるといいなと思います。ありがとうございます

した。

- ・自分はいまだにスマホでなくガラケー愛用者です。参加人数により難しさもあるかもしれませんが、昼休みなどに iPad を実際に使えるようなインストラクションがあるとありがたいです。展示されていた書籍は充実していて参考になりました。
- ・有意義な一日でした。ありがとうございました。
- ・私のできる範囲で周囲にも紹介していこうと思います。
- ・河野先生の講座が大変勉強になりました。学校現場で実際に起きていること、学習の壁に直面している児童、対象者の実例を上げ、その問題の解決方法、対処法が、とても分かりやすかったです。高校でも学習障害の支援に取り組もうとしていますが、どうすればいいのかわからず対応が遅れたり、できていないのが現実です。いつかチャンスがあれば全県の司書に本日のようなお話をしていただけたらと思います。支援は本人が必要と申し出ないと押し付けになる…。難しいです。特に司書という立場上、日ごろのコミュニケーションが密でないのその辺のさじ加減がうまくいきません。
- ・デージーへのリクエストやベストセラー等、人気や流行が反映されるようにタイトルが増やしてもらえるのもいいのでは。
- ・障害児が利用する NPO の放課後等デイサービスの事業所への配布は可能でしょうか。
- ・多くの方々の協力によって、今回の研究会が開かれたと思います。本当にありがとうございました。
- ・研究会を更に広く行ってください。教育会の総会時などで事例を示すことなどはこの活用を生かす最良の方法かと思いますが。
- ・マルチメディア DAISY をもっと現場で働く先生に知っていただく必要があり、知ってもらうための努力、方法を考えていかなければならないと思います。
- ・音訳ボランティアをしています。パソコンによる編集まではできませんが、音訳部分でお手伝いできればと思うのですが、どうしたら良いでしょう。
- ・双方向の講座もお願いします。
- ・どの冊子の何ページとか最初だけでも言ってほしかった。
- ・実際に、県内の図書館でマルチメディア DAISY 図書をいつでも体験できる環境が整うといいですね。せっかく多くの図書館から参加されていたので、そんな日が来ることを願っています。ありがとうございました。
- ・未記入 15